

設計書

部		課		リー		担				審		設
長		長		ダー		当				査		計

会計年度 令和 7 年度

事業名 公共下水道事業

業務番号 公下処委 第 2 号

業務名 し尿・浄化槽汚泥処理施設共同化基本計画策定業務委託（その2）

業務種別 測量 設計 その他

業務区分 単独 補助

業務方法 直営 請負 その他

履行場所 多治見市 月見 町 3 丁目地内

路線名

設計者名

設計年月日 令和 7 年 12 月 10 日

履行期間 業務着手の日から 日間以内

着手年月日 令和 年 月 日

完了年月日 令和 8 年 3 月 31 日

業務概要

業 務 概 要

し尿・浄化槽汚泥処理施設共同化基本計画策定業務委託（その2）

月見センター簡易耐震診断

処理能力 61kℓ/日（し尿40kℓ/日+浄化槽21kℓ/日）

計算根拠

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
委 託 価 格			金		円也
消 費 税 お よ び 地 方 消 費 税 の 額			金		円也
設 計 金 額			金		円也

本 業 務 内 訳 書

費 目	工 種	種 別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
業務委託料							
	直接原価						
		直接人件費	1	式			別紙第1号明細書の通り
		計					(直接人件費)
		直接経費	1	式			別紙第2号明細書の通り
		計					(直接経費)
	計						[直接原価]
		その他原価	1	式			
		計					
	業務原価						
	一般管理費等						
	計						

本 業 務 内 訳 書

費 目	工 種	種 別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
業務価格							
消費税及び地方消費税の額			1	式			税率10%
業務委託料計							

第 1 号 明細書

人件費

名 称	規 格	数量	单 位	单 価	金 額	摘 要
技師長			人			
主任技師			人			
技師 (A)			人			
技師 (B)			人			
技師 (C)			人			
技術員			人			
計						

第 2 号 明細書

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
旅費交通費		1	式			
電子成果品製作費		1	1			
小計						
劣化診断						
目視調査		1	式			
コンクリート試験費	圧縮強度試験	9	箇所			
中性化試験	はつり法	9	箇所			
鉄筋腐食度試験	はつり法	9	箇所			
試験跡埋め戻し補修		9	箇所			
配筋試験	レーザー探査	9	箇所			
報告書作成		1	式			
小計						

第 2 号 明細書

名 称	規 格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
計						

第 1 号

集計表

人件費

作業項目	土木構造物						
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
汚水調整池（受入槽等）							第2号集計表
反応タンク（長時間曝気）							第3号集計表
最終沈殿（放流調整槽）							第4号集計表
汚泥濃縮槽（重力濃縮タンク）							第5号集計表
管理棟（建築構造物）							第6号集計表
管理棟（土木構造物）							第7号集計表
汚泥処理棟（建築構造物）							第8号集計表
汚泥処理棟（土木構造物）							第9号集計表
送風機室							第10号集計表
資料収集・整理							
現地調査							
報告書作成							
設計協議							第11号集計表
計							

多 治 見 市

第 2 号

集計表

汚水調整槽

作業項目	土木構造物						
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
診断計画							
原設計条件の整理							
現地確認							
照査							
計							

多 治 見 市

第 3 号

集計表

反応タンク

作業項目	土木構造物						
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
診断計画							
原設計条件の整理							
現地確認							
照査							
計							

多 治 見 市

第 4 号

集計表

最終沈殿池

作業項目	土木構造物						
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
診断計画							
原設計条件の整理							
現地確認							
照査							
計							

第 5 号

集計表

汚泥濃縮（重力濃縮タンク）

作業項目	土木構造物						
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
診断計画							
原設計条件の整理							
現地確認							
照査							
計							

第 6 号

集計表

管理棟建築構造物

作業項目	建築構造物						
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
診断計画							
原設計条件の整理							
現地確認							
照査							
計							

多 治 見 市

第 7 号

集計表

管理棟土木構造物

作業項目	土木構造物						
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
診断計画							
原設計条件の整理							
現地確認							
照査							
計							

多 治 見 市

第 8 号

集計表

汚泥処理棟建築構造物

作業項目	建築構造物						
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
診断計画							
原設計条件の整理							
現地確認							
照査							
計							

多 治 見 市

第 9 号

集計表

汚泥処理棟土木構造物

作業項目	土木構造物						
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
診断計画							
原設計条件の整理							
現地確認							
照査							
計							

多 治 見 市

第 10 号

集計表

送風機室

作業項目	建築構造物						
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
診断計画							
原設計条件の整理							
現地確認							
照査							
計							

多 治 見 市

第 11 号

集計表

設計協議

作業項目							
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	備 考
第1回打合せ							
中間打合せ1回							
最終打合せ							
計							

多 治 見 市

し尿・浄化槽汚泥処理施設共同化基本計画策定業務委託（その2）

特記仕様書

1. 総則

1.1 業務の目的

し尿処理施設（以下：月見センター）の老朽化に伴い、下水処理場との共同化検討を行うもので、令和7年度「公下処委第1号 し尿・浄化槽汚泥処理施設共同化基本計画策定業務委託」の検討を補完するために、月見センターの耐震診断（簡易診断）を実施するため委託するもの。

1.2 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な経費は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

1.3 法令等の遵守

受注者は、業務に実施に当たり、関連する法令等を遵守すること。

1.4 秘密・中立性の保持

受注者は、業務の処理場知り得た情報を他人に漏らしてはならない。また、常にコンサルタントとして中立性を保持すること。

1.5 公益確保の義務

受注者は、業務を行うに当たり公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することの無いように努めること。

1.6 提出書類

(1)受注者は、業務の着手及び完了に当たって、契約約款に定めるものの他、下記の書類を提出しなければならない。

(イ)業務着手届 (ロ)業務工程表 (ハ)管理技術者通知書 (二)照査技術者通知書 (ホ) 業務完成通知書 (ヘ)業務報告書 (ト)業務委託料請求書等

1.7 配置技術者

(1) 本業務の管理技術者及び照査技術者には技術士法に基づく技術士（総合技術監理部門/下水道又は、上下水道部門/下水道）の資格を有し、自社と継続雇用関係がある者を配置すること。

(2)管理技術者は、業務の全般に渡り技術的管理を行わなければならない。

(3)受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1.8 工程管理

受注者は、工程に変更が生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1.9 成果品の審査及び納品

(1) 成果品については、下記のとおりとする。

(イ) 報告書 A4版バインダーファイル 1部 黒表紙金文字製本 2部

(ロ) その他関係図書

(ハ) 打合せ議事録

(二) CD-R等での電子データ(上記成果品をPDF及びWORD形式等で保存したもの) 3枚

(2) 受注者は、成果品完成後に発注者の審査を受けなければならない。

(3) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、直ちに訂正しなければならない。

(4) 業務の審査において合格後、成果品一式を納品し、発注者の検査員の検査をもって、業務の完了とする。

(5) 発注者は、引き渡された目的物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、民法第559条で準用する同法第562条及び第563条の規定により履行の追完又は代金の減額を請求し、及び同法第415条の規定により損害の賠償を請求することができる。

1.10 関係官公庁との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当たり、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1.11 参考資料の貸与

発注者は、業務に必要な関係資料等を所定の手続きによって貸与する。

1.12 参考文献等の明記

業務に文献その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記するものとする。

1.13 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については発注者、受注者協議の上これを定める。

1.14 打合せ、報告等について

(1) 業務の実施に当って、受注者は関係監督員と密接な連絡を取り、連絡事項を記録し、打合せの際相互に確認しなければならない。

(2) 打合せを実施する場合、あらかじめ打合せ内容の分かる資料を発注者へ提出しなければならない。

(3) 業務着手時及び業務の主要な区切りにおいて、受注者と発注者は打合せを行うものとし、その結果を記録し相互に確認しなければならない。

1.15 報告書作成

本業務で収集した資料、各種検討内容を整理し、報告書として取り纏め提出する。

1.16 照査

受注者は相当な技術経験を有する照査技術者を配置し、成果物に誤りがないよう努めなければならない。

1.17 妨害又は不当要求に対する通報義務

- (1) 受注者は契約の履行に当たり、暴力団又は暴力団員等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求を受けた場合又は契約の適正な履行を妨害された場合は警察に通報しなければならない。なお、これらの不当介入を受けたにも関わらず通報しない場合は指名停止措置を講じることがある
- (2) 受注者は暴力団等による不当介入を受けたことに起因して履行期間内に契約内容を完了することができないときは、発注者に対して履行期間の延長を請求することができる。

1.18 環境配慮

受注者は、作業全般に渡り次の事項など、環境配慮に努めるものとする。

- (1) 自動車、業務機材の使用にあたっては、環境に配慮した仕様に努め、無用な使用を出来るだけしないように心がけること。
- (2) 業務完了時の提出書類等は、環境や再利用の観点から両面印刷等に心がけること。
- (3) 業務を施工するにあたり、購入やレンタルする必要がある物品については、環境に配慮して極力グリーン購入法に適應したものを活用するよう努めること。
- (4) 清掃等周辺環境美化に努める。
- (5) 業務全般にわたり省電力、省エネルギーに努めること。
- (6) 上記のほか、受注者として環境に配慮する計画があれば業務着手時に、書面にて提出すること。

2. 委託内容

本業務は、「下水道施設の耐震対策指針と解説－2025 年版（公社）日本下水道協会」、「廃棄物処理施設の耐震・浸水対策の手引き令和 4 年 11 月 環境省」に基づき、対象施設の簡易耐震診断を実施し、その評価を行う。

2.1 業務の対象

本業務の検討対象施設は以下のとおりとする。

月見センター

所在地 多治見市月見町 3 丁目地内

概要 RC 造 地上 2 階地下 1 階 平成 2 年竣工 杭基礎

2.2 準拠基準

本業務は、下水道法、建築基準法、電気事業法、消防法等の法令・規格に準拠することは勿論であるが、その他次の図書(最新版)に準拠・準用するものとし、担当者と診断条件の設定について十分協議する。

- | | |
|----------------------|---------|
| (1) 下水道施設の耐震工法指針と解説 | 日本下水道協会 |
| (2) 下水道施設設計指針 | 日本下水道協会 |
| (3) 下水道維持管理指針 | 日本下水道協会 |
| (4) 道路橋示方書・同解説Ⅴ耐震設計編 | 日本道路協会 |
| (5) コンクリート標準示方書〔設計編〕 | 土木学会 |

(6) 杭基礎設計便覧

日本道路協会

(7) その他関連する建築学会、関係基準、標準仕様書、設計指針及び関係法規業務内容

3.3 設計協議

本業務を円滑に進めるため、極力手戻りがない様に、次の各段階で必要な事項について協議を行うものとする。尚、その他に必要が生じた際も、随時協議を行うものとする。

初回打合せ : 仕様書内容の確認, 借用資料等の確認

中間打合せ (1 回) : 業務作業中に発生する諸条件に関する確認

最終打合せ : 業務作業完了時における総括説明, 成果品納入, 検収立会い

3.4 既存資料調査

(1) 一般事項の整理

(2) 施設の重要度や周辺環境に関する調査

(3) 既往地震の被災履歴に関する調査

(4) 機能の維持等に関する調査

(5) 処理システムに関する調査

(6) 地盤資料の確認

(7) 設計図書、完成図書等による原設計条件

3.5 現地調査

(1) 躯体（鉄筋コンクリート）の劣化調査

(2) 地盤や構造物の沈下調査

(3) 機器等の据付状況調査

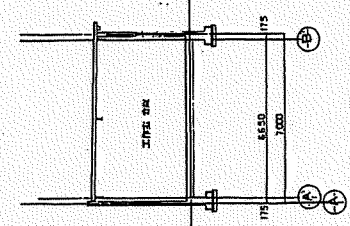
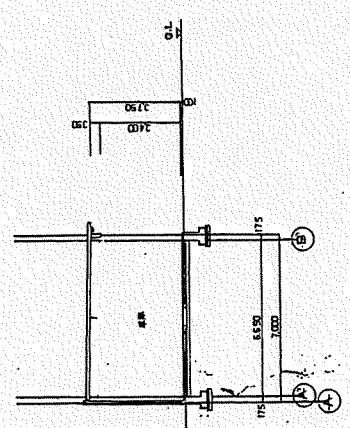
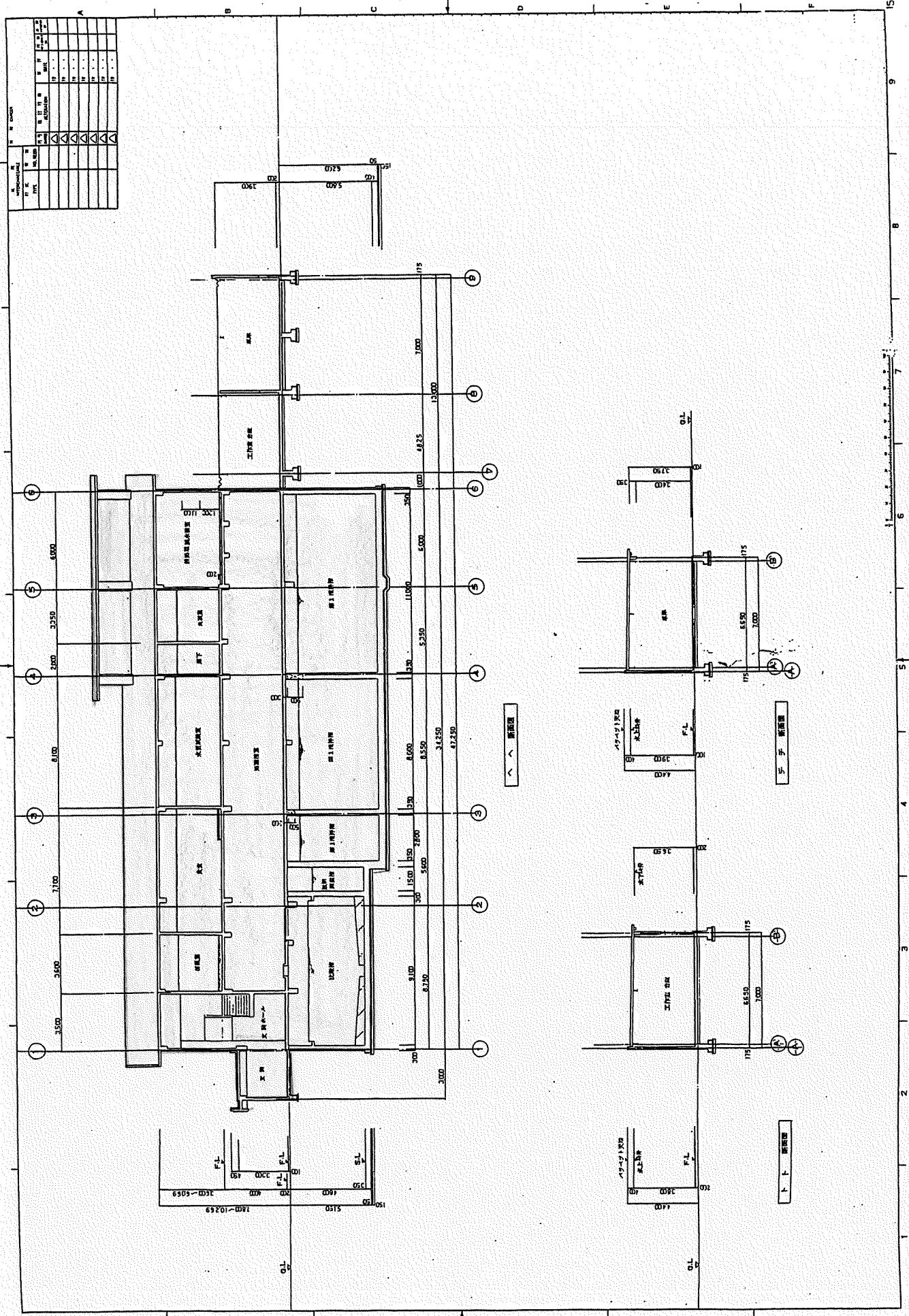
3.6 耐震性能の評価

(1) 共通事項：施設の重要度の変更や周辺環境の変化の有無

(2) 地 盤：原設計条件で液状化が考慮されていない場合における液状化、側方流動の有無

(3) 構 造 物：想定地震動に対する耐震性能の有無

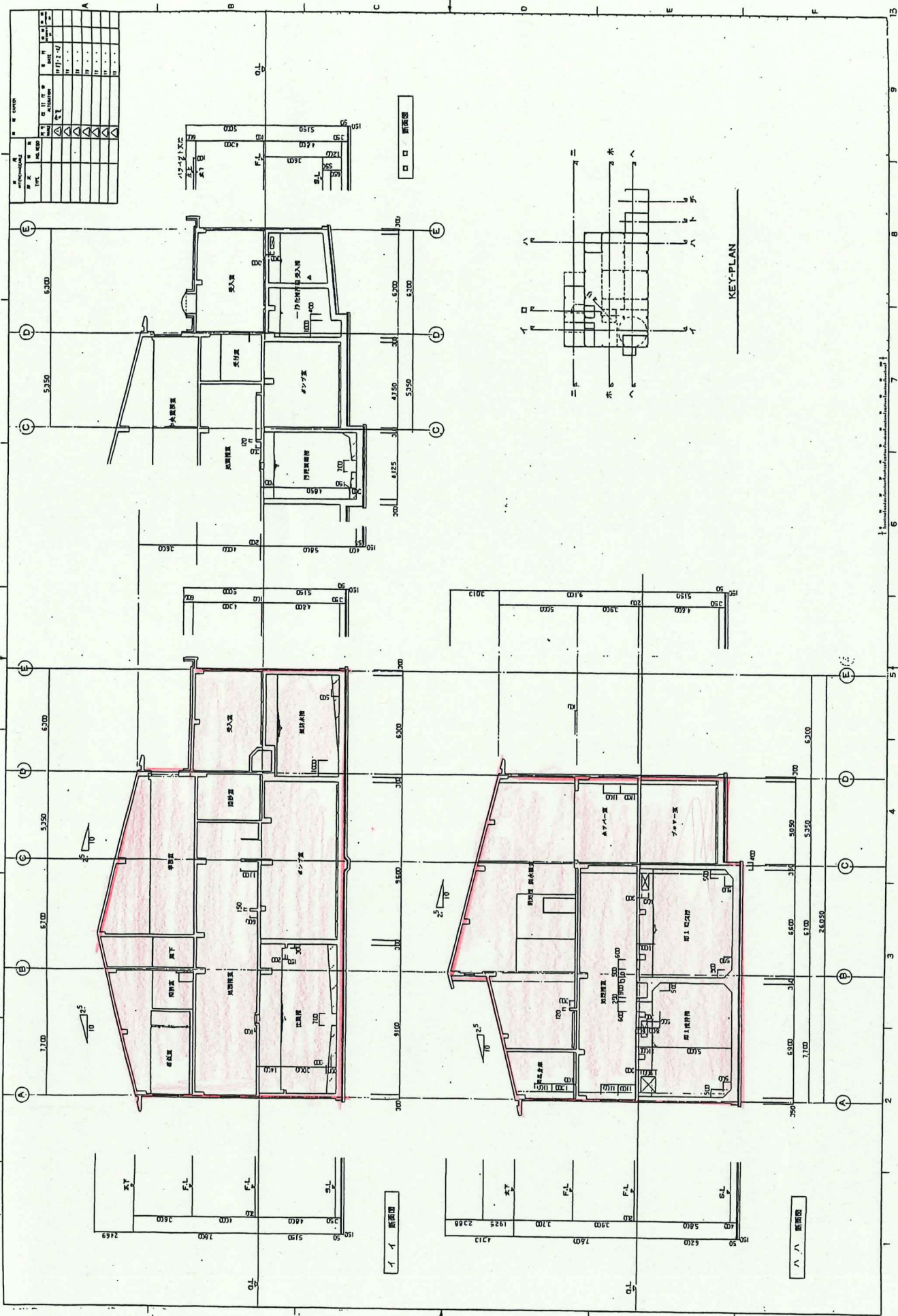
(4) 設 備：図書等及び現地調査による基礎の耐震性能の有無



断面図

断面図

断面図



仕様表		材料表		色目表		数量表		備考	
品名	仕様	品名	仕様	色目	色目	数量	単位	備考	備考
床	フローリング	壁	珪藻土	白	白	10	㎡		
天井	珪藻土	床	フローリング	白	白	10	㎡		
窓	アルミサッシ	壁	珪藻土	白	白	10	㎡		
扉	木製	床	フローリング	白	白	10	㎡		
階段	木製	壁	珪藻土	白	白	10	㎡		
浴室	珪藻土	床	フローリング	白	白	10	㎡		
トイレ	珪藻土	壁	珪藻土	白	白	10	㎡		
洗面	珪藻土	床	フローリング	白	白	10	㎡		
睡眠	珪藻土	壁	珪藻土	白	白	10	㎡		
書斎	珪藻土	床	フローリング	白	白	10	㎡		
作業	珪藻土	壁	珪藻土	白	白	10	㎡		
倉庫	珪藻土	床	フローリング	白	白	10	㎡		
駐車	珪藻土	壁	珪藻土	白	白	10	㎡		
庭	珪藻土	床	フローリング	白	白	10	㎡		
バルコニー	珪藻土	壁	珪藻土	白	白	10	㎡		
テラス	珪藻土	床	フローリング	白	白	10	㎡		
階段	珪藻土	壁	珪藻土	白	白	10	㎡		
廊下	珪藻土	床	フローリング	白	白	10	㎡		
玄関	珪藻土	壁	珪藻土	白	白	10	㎡		